

ギムザ染色の工夫点 (京都市立病院)

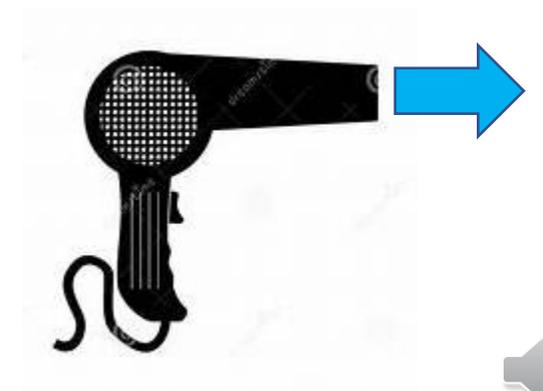
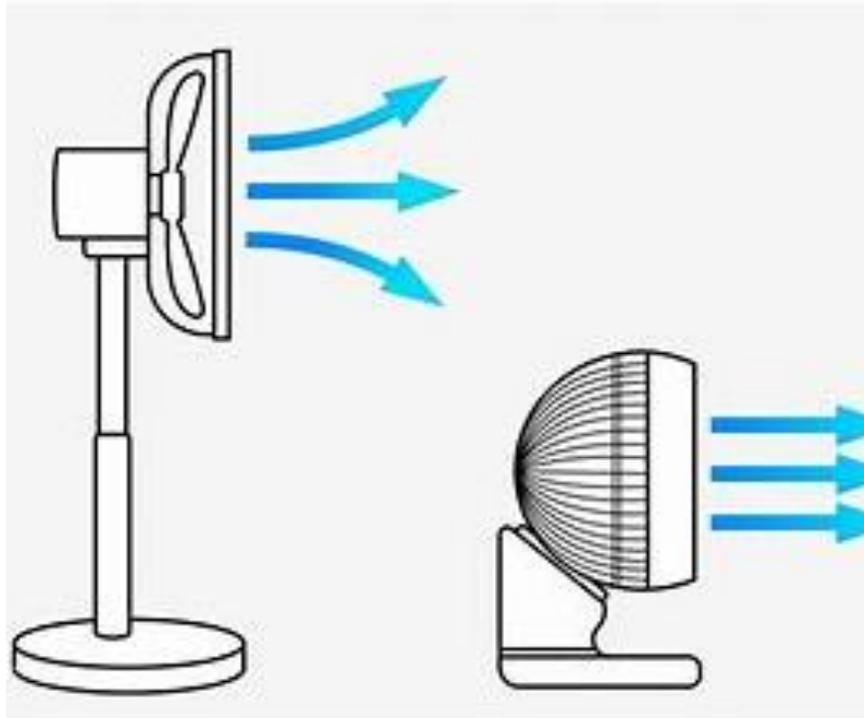
発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

京都市立病院 臨床検査技術科
竹腰 友博



① 風乾方法

- 直径の大きな扇風機を使用し、塗沫標本全てに満遍なく風が当たるようにしている。



② 染色方法

• 染色時間

染色液	当院
メイグリユンワルド液	3分
メイ・バッファー混合液	3分
バッファー	数回出沒
ギムザ染色液	10分
水洗	数回出沒
乾燥	立てて乾燥

• 染色液の調整

染色液	組成
メイグリユンワルド液	メルク社 メイグリユンワルド液 原液
メイグリユンワルド液・pH6.4リン酸バッファー混合液	メイグリユンワルド液 80 ml pH6.4リン酸バッファー 80 ml
pH6.4リン酸バッファー	メルク社 バッファータブレット pH6.4血液像用リン酸緩衝液調整用 (1錠/1L)
ギムザ染色液	メルク社 ギムザ染色液 8 ml pH6.4リン酸バッファー 160 ml



③ 染色液の使用期間について

- メイグリユンワルド液の使用期間 1カ月（継ぎ足しあり）
使用バット・・・乾燥している
使用後・・・速やかに褐色瓶に戻し密栓して保存
- メイ・バッファー混合液、ギムザ染色液の使用期間 1週間

